試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

2022年度　郡山女子大学・郡山女子大学短期大学部
一　般　選　抜　Ⅰ　期
個　別　学　力　試　験　問　題

国　語

（国語総合）

注　意　事　項

1　試験中に問題冊子の印刷不鮮明，ページの落丁・乱丁等に気付いた場合は，監督者に知らせてください。

志願番号		氏　　名	

解答は、すべて解答用紙に記入すること。

問題Ⅰ　次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

まことに、芸術っていったい何なのだろう。素朴な疑問ですが、それはまた、（A）本質をついた問題でもあるのです。芸術は、ちょうど毎日の食べものと同じように、人間の生命にとって欠くことのできない、絶対的な必要物、むしろ生きることそのものだと思います。

しかし、なにかそうでないように扱われている。そこに現代的な①錯誤、ゆがみがあり、またそこから今日の生活の空（むな）しさ、そしてそれをまた反映した今日の芸術の空虚も出てくるのです。すべての人が現在、瞬間瞬間の生きがい、自信を持たなければいけない、そのよろこびが芸術であり、表現されたものが芸術作品なのです。そういう観点から、現代の状況、また芸術の役割を見かえしてみましょう。

私はいま、芸術はけっきょく生活そのものの問題だといいました。ふつうの人は、「生活」というと、働いてその日その日をなんとか食いつなぎ、余暇には適当な娯楽、といってもせいぜい映画や、プロ野球、プロレス、ボクシングを見たり、あるいはハイキングか、温泉旅行というようなレクリエーションをするくらい。そして翌日からは、また精を出して、食うために働く。それが、まああたりまえ、人間なみの生活だというふうに考えています。なるほど人は、社会的生産のため、いろいろな形で毎日働き、何かを作っています。しかし、いったいほんとうに創（つく）っているという、充実したよろこびがあるでしょうか。正直なところ、（B）ただ働くために働かされているという気持ちではないでしょうか。それは近代社会が、生産力の②カクダイとともにますます分化され、社会的生産がかならずしも自分本来の創造のよろこびとは一致しないからです。逆にただ生きるために義務づけられ、本意、不本意にかかわらず、働かされている。一つの機械の部分、歯車のように目的を失いながら、ただグルグルまわって働きつづけなければならないのです。

「自己疎外（じこそがい）」という言葉をご存じでしょう。このように社会の発達とともに、人間一人一人の働きが部品化され、目的、全体性を見失ってくる、人間の本来的な生活から、自分が遠ざけられ、自覚さえ失っている。それが、自己疎外です。自分ではつかうことのない膨大（ぼうだい）な札束（さつたば）をかぞえている銀行員。見たこともない商品の記帳をするＯＬ。世の中は自分と無関係なところで動いているのです。一日のいちばん長い時間、単一な仕事に自分の本質を見失いながら生きている。たいていの人は、食うためだ、売りわたした時間だから、と割りきって平気でいるよう

に見えます。しかし、自己疎外の毒は意外に深く、ひろく、人間をむしばんでいるのです。義務づけられた社会生活のなかで、自発性を失い、おさえられている創造欲がなんとかして噴出しようとする。そんな気持ちはだれにもある。だが、その手段が見つからないのです。

現代人の生きがいのようになっている余暇の楽しみ、生活の趣味的な部分について考えてみましょう。われわれの生活をふりかえってみても、遊ぶのには、まったく事欠きません。そして、ますますそういう手段、施設はふえるいっぽうです。だが、ふえればふえるほど、逆にますます遊ぶ人たちの気分は空しくなってくるという奇妙な事実があります。遊ぶにしても、楽しむにしても、ほんとうにたのしく、生命が輝いたという全身的な充実感、生きがいの手ごたえがなければ、ほんとうの意味のレクリエーション、つまりエネルギーの蓄積、再生産としてのレクリエーションはなりたちません。身近な例で、たとえばプロ野球を見にいく。結構な楽しみです。いいチャンスにホームランが出る、また、すばらしいファイン・プレー。みんな大喜びです。胸がスーッとします。（C）あなたの本質とはまったくかかわりない。そのホームランのために自分の指一つ動かしたわけじゃなし、スタンドでの感激はあっても、やはりただ見物人であるにすぎないのです。まして、テレビでも見ているばあいはなおさらでしょう。ひとがやったこと、あなたは全人間的にそれに参加してはいない。けっきょく、「自分」は不在になってしまう。空しさは、自分では気がついていなくても、カスのようにあなたの心の底にたまっていきます。楽しむつもりでいて、楽しみながら、逆にあなたは傷つけられている。言いようのない空しさに。どんなに遊んでも、そのときは結構たのしんでいるようでも、なにか空虚なのです。自分の生命からあふれ出てくるような本然のよろこびがなければ、満足できない。自分では知らなくても、それは心の底で当然欲求されているし、もし、その手ごたえがつかめれば、健全な生活のたのしみが、自然にあふれでてくるはずです。

毎日、瞬間瞬間の自己放棄、不条理、無意味さ、バカバカしさ。社会が発達していけばいくほど、この③矛盾の傷口は、いよいよ絶望的に大きくなっていきます。くりかえしていいますが、（D）ほとんどの人間はあきらめて、適当にやっています。だれでも、子どものときには、人生ってもっとすばらしいものだと思っている。大きくなったら、と④ムソウしていた。にもかかわらず、毎日毎日の生き方がなにかほんとうではない。こんなものではないはずだ、とあせります。しかし、そういうふうに矛盾を感じる人は、きわめて感受性のすぐれた、良心的な人なのです。多くはそんな疑問さえもちえない。絶望的な状態です。そして知らずしらずに自分をいつわりつづけている。

それにほんとうにぶちあたり、自分で解決しないかぎり、人間はいよいよスポイルされ、分裂的になっていくほかありません。自分自身が

信用できない。まして他人なんか信じられるはずがない。惰性的で、無気力でありながら、しかし神経だけは奇妙にイライラしています。自分自身に充実する。電気冷蔵庫を置いたり自家用車をもって、生活が楽になる。そんないわば、外からの条件ばかりが自分を豊かにするのではありません。他の条件によってひきまわされるのではなく、自分自身の生き方、その力をつかむことです。それは、自分が創りだすことであり、言いかえれば、自分自身を創ることだといってもいいのです。だが、どうやって？　それをこれからお話ししようと思います。私はそこに、芸術の意味があると思うのです。それは現代社会においてこそ、とくに必要な、大きな役割として、クローズアップされています。それは一言（ひとこと）でいってしまえば、失われた人間の全体性を奪回しようという情熱の噴出といっていいでしょう。現代の人間の不幸、空虚、疎外、すべてのマイナスが、このポイントにおいて逆にエネルギーとなってふきだすのです。力、才能の問題ではない。たとえ非力でも、その瞬間に非力のままで、全体性をあらわす感動、その表現。それによって、見る者に生きがいを⑤ショクハツさせるのです。失われた自分を回復するためのもっとも純粋で、猛烈な営み。自分は全人間である、ということを、象徴的に自分の姿の上にあらわす。(E)そこに今日の芸術の役割があるのです。

（岡本太郎『今日の芸術　時代を創造するものは誰か』光文社知恵の森文庫　一九九九年　一部改変）

【一】傍線部①～⑤の漢字はひらがなに、カタカナは漢字に直して書きなさい。（各二点）

【二】本文中に使用されているカタカナの語句（【一】の漢字に直すカタカナは除く）の中から、次の意味で使われているものを選び、答えなさい。（各二点）

ア　一点。

イ　拳闘。

ウ　特定のものを大きくとりあげる。

エ　台無しに。駄目に。

【三】二重傍線部（A）「本質をついた問題」の説明として適切なものを次のア～カから二つ選び、記号で答えなさい。（各二点）

ア 人間が生きていく上で不可欠である芸術に関して問うことになるということ。

イ 人がみな、人並みの生活をすることに満足をしてしまっているという問題。

ウ 労働を、レクリエーションの為の手段にしている問題。

エ 人が生きる事そのものを問うことになるということ。

オ われわれの生活を振り返ると、遊びの場ばかりが増えていってしまっているということ。

カ 芸術の素人が理解できるような簡単な問題ではないという意味。

【四】二重傍線部（B）「ただ働くために働かされているという気持ち」とはどのような気持ちか。次の四つの言葉を使用して説明しなさい。（七点）

自発性、創造性、生きがい、分業化

【五】空欄（C）に入る文章として、もっとも適当なものを次のア～オから一つ選びなさい。（二点）

ア そこに人生の醍醐味を感じる人も多いことでしょう。

イ 特に、自分のお気に入り選手が活躍したら、興奮することでしょう。

ウ たとえ嫌なことがあっても、その瞬間は忘れさせてくれます。

エ だが、それがあなたの生きがいでしょうか。

オ しかし、好きなチームがいつも勝つとは限りません。

【六】二重傍線部（D）「ほとんどの人間はあきらめて、適当にやっています」の理由として、もっとも適切でないものを次のア～オから一つ選びなさい。（二点）

ア 生きがいを感じる事柄を仕事にするのは無理だと思っているから。

イ 心の底から楽しめる遊びの体験がないから。

ウ 世の中は、自分と関係のないところで動いていると思っているから。

エ 義務付けられた社会に適応する人生は、とりあえず楽だから。

オ 分業によって生まれた部品化された仕事に生きがいを感じているから。

【七】二重傍線部（E）「そこに今日の芸術の役割があるのです」とあるが、筆者が考える芸術の役割について本文中の言葉を使って答えなさい。（七点）

問題Ⅱ　次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

生まれて最初におぼえることば、そして、ある期間それで育つことばを母語という。だから、ほとんどすべての日本人にとって、母語は日本語である。しかも、その日本語は、どこか、ある地域のことば、すなわち方言である。

「母語」ということばは、母校、母港、母船、航空母艦、母型のような「母」で始まることばとグループをつくっている。これらの語から抜き出せる「母」の意味は、「そこから出た元の」ということである。そして、そこにいつかは返りたい、あるいは、返っていくべきところである。

母語は、もともと mother tongue（マザー タング）という英語の訳である。mother（マザー）は「母」、tongue（タング）は「言語」に当たるから、「母・語」はとてもいい訳語だと思うのに、（A）いままでは「母国語」と言うことが普通だった。

「母国語」が「母国・語」のように切れて、「母国のことば」の意味だとすると、「母国語」といっては実際にいろいろ①不都合なことがある。在日韓国人で韓国語はあとで習ったことばで、生まれて最初におぼえたことばは日本語、しかも日本人の学校を出た学生にとって、「母国語」はどちらの言語ということになるのか。大学院の試験を受けるのに、「母国語以外の外国語二か国語を受験すること」のような規定があるとき、こういう人は自分の②フタンを軽くしようと、韓国語を母国語、日本語は外国語として、実質上外国語は一つだけ受験すれば足りるというようなケースが生じたことがある。受験に際して不平等なことがないように、「母国語」の名称を「母語」に変更することを主張して通ったことがある。

もっと単純な例は、アメリカで生まれ、アメリカで育った日本人にとって、英語が「母語」の場合である。これを単純に「母国語」と言うとおかしい。「母国語」は日本語だからである。

だから、ここでいうのは（B）「母語」であって「母国語」ではない。

日本語は日本国にいる九五％以上の人の使用言語であり、日本国では九五％以上の人が日本語を使っているという意味では、日本国は「単一言語国家」であると言うことができる。こういう国では、言語と国家がいわば合同関係にあるので、言語と国を単位にして分類しがちになる。「母語」ではなく「母国語」と言ってきたのにはそういう事情がある。言語と国家が合同関係にある例は世界では③稀であるから、国際化の時代に「母国語」という「国」のついた名称は不適当である。

ところで、「母語」のもとの英語に mother（マザー）「母親」ということばが入っているが、ことばがらとして母親と母語とはよく似たところがある。どちらも自分では選べなかったという点である。だれも、この母親から生まれたいと決めて生まれてきたわけではないように、この言語、この方言とあらかじめ選んだ上で生まれてきたのではない。言うならば、母親も母語も、運命的存在であり、かけがえのない貴重なものである。これから④ルイスイして、母語、母校、母港・・・の「母」は、「母親のような」の意ととらえることもできる。

日本人にとって母語は日本語であり、しかも、どこかの方言だと述べたが、自分の母語は日本語ではあるが、方言ではないと言い張る人がいそうである。特に東京で生まれ育った人にありそうである。しかし、東京で生まれ育った人々にとって、母語は、やはり東京という地域のことば、すなわち東京方言であって、それ以外のものではありえない。

しかし、いろんな人とつきあってきて、確かに地域性のほとんどないような人もいる。小学校卒業ぐらいまでの「言語形成期」といわれ

る期間を、日本と外国を行ったり来たりして育ったような人、日本のなかでも両親とともに各地を転々と移り住んだ人、さらに、外部と⑤コウショウの少ない特殊な家庭環境で育った人、本人の人嫌いから遊び友達がほとんどなかった人などがそうである。こういう人の日本語は、書きことばに近い、いわば本を読んでいるのと変らない日本語である。

もちろん、こういう人たちの存在も無視できないと思うので、(C)「日本人にとって、母語はどこかの方言である」という言い方に修正を加えておいたほうがいい。「たいていの日本人にとって」または「多くの日本人にとって」のように。

ところで、この文章を書いている、当のわたくしは、名古屋市の町なかで生まれ、名古屋方言で育ち、二十歳まで名古屋で学校教育を受けた。その後は東京である。もう、期間として名古屋生活の三倍近い東京生活を送ったが、いまだに名古屋方言という母語から完全に抜け出すことができないでいる。それは、東京方言が本当にはわかっていない。使いこなしていないということである。

ただし、名古屋方言から抜け出せないというのは、毎日、名古屋弁で話しているというのではない。「何々を名古屋方言で何と言いますか」という、多年わたくしが各地のお年寄りに向けてきた質問を逆に受けるようになっても、すぐどころか、ついに答えられないということが多い。そんな状況での名古屋方言である。

名古屋方言という母語から自由になれないのは、もっと意識の深いところの話である。十年くらい前のこと、「芋をムス」か「芋をフカス」か、その違いが気になってしようのないことがあった。さつま芋はわたくしの好物であり、自分で調理することもあって、その行為がムスかフカスか、やはりはっきりしておきたい。ものごとの大局だけ見て済む人もある。そういう人にとって、両者は「同じだ」とすることでこと足りる。いや、たかが芋のこと、ムスでもフカスでも食べられれば何の文句があろうと。

しかし、(D)言語学者はその仲間には入れない。語には二つと同じものはない。一つも無駄な語はないというのが言語学の大前提だからである。「むす」と「ふかす」のように、意味がよく似ていても、必ず何らかの違いがあるだろうと考える。この場合の「意味」には、意味内容のほかに、それが女性のことばだとか、古いことばだとか、どこかの方言だとか、人前では口にできないことばだとかいった、ことばの付加価値のようなものまで含んでの話である。

(柴田　武『日本語はおもしろい』岩波新書　一九九五年　一部改変)

【一】傍線部①～⑤の漢字はひらがなに、カタカナは漢字に直して書きなさい。（各二点）

【二】この文章の中で筆者が述べている「母語」、「母国語」の語句の意味を、本文中の言葉を使ってそれぞれ答えなさい。（各三点）

【三】二重傍線部（A）「いままでは「母国語」と言うことが普通だった」とあるが、それはなぜか。本文中の言葉を使って答えなさい。（六点）

【四】二重傍線部（B）「「母語」であって「母国語」ではない」とあるが、筆者が「母語」を「母国語」と呼ぶことに異を唱える理由を本文中の言葉を使って答えなさい。（六点）

【五】二重傍線部（C）「「日本人にとって、母語はどこかの方言である」という言い方に修正を加えておいたほうがいい」とあるが、その理由を本文中の言葉を使って答えなさい。（六点）

【六】二重傍線部（D）「言語学者はその仲間には入れない」とあるが、どのような仲間に、なぜ入れないのか。それぞれ本文中の言葉を使って答えなさい。（各三点）

【七】本文を踏まえ、方言について、あなたの考えを二〇〇字以内で書きなさい。（二十点）

解答用紙

二〇二二年度　郡山女子大学・郡山女子大学短期大学部
一般選抜Ⅰ期　個別学力試験

国語（国語総合）

氏名

志願番号

得点

問題Ⅰ

【一】	①	
【二】	ア	
【三】		
【四】		7点
【五】		4点
【六】		
【七】		7点
【三】		4点
【二】	イ	8点
【一】	②	10点
【二】	ウ	
【一】	③	
【二】	エ	
【一】	④	
【一】	⑤	

問題Ⅱ

【一】	①		
【二】	母語	母国語	6点
【三】			6点
【四】			6点
【五】			6点
【六】	どのような仲間	なぜ入れないのか	6点
【一】	②		
【一】	③		
【一】	④		
【一】	⑤		10点

二〇二二年度　郡山女子大学・郡山女子大学短期大学部
一般選抜Ⅰ期　個別学力試験

国語（国語総合）

氏名

志願番号

【七】

20点

解答用紙

二〇二二年度　郡山女子大学・郡山女子大学短期大学部
一般選抜Ⅰ期　個別学力試験

国語（国語総合）

氏名

志願番号

得点

問題Ⅰ

【一】	①	さくご	10点
【二】	ア	ポイント	8点
【三】	ア	エ	4点
【四】	（例）近代社会が生産拡大を目的として分業化を進める中で、人間は全体性を見失い、部品化される。その結果として、人間の本質である自発性や創造性が発揮できず、生きがいを持てずに空しい気持ちに陥ってしまうということ。		7点
【五】	エ		4点
【六】	オ		
【七】	（例）見る者に生きがいを触発させる役割。		7点

【一】	②	ボクシング	
	③	むじゅん	
	④	夢想	
	⑤	触発	
【二】	イ	ボクシング	
	ウ	クローズアップ	
	エ	スポイル	

問題Ⅱ

【一】	①	ふつごう	10点
	②	負担	
	③	まれ	
	④	類推	
	⑤	交渉	
【二】	母語	（例）生まれて最初におぼえることば、そして、ある期間それで育つことば	6点
	母国語	（例）母国のことば。自分の国のことば。	
【三】	（例）日本国のような「単一言語国家」では、言語と国家がいわば合同関係にあるので、言語と国を単位にして分類しがちになるため、「母語」ではなく「母国語」と言ってきた。		6点
【四】	（例）言語と国家が合同関係にある例は世界では稀であり、国際化の時代に「母国語」という「国」のついた名称は不適当であるため。		6点
【五】	（例）母語において、地域性のほとんどないような人たちの存在も無視できないため。		6点
【六】	どのような仲間	（例）方言の違いを大局的に見て、二つの異なる語を同じだとすることで足りる人の仲間	6点
	なぜ入れないのか	（例）語には二つと同じものはない。一つも無駄な語はないというのが言語学の大前提だからであり、意味がよく似ていても、必ず何らかの違いがあるだろうと考えるため。	

【七】

採点のポイント
・テーマ「方言」に合った内容か。
・常体と敬体が混在していないか。
・話し言葉になっていないか。
（ら抜き言葉、違かった、「なので」始まり等）
・誤字／脱字はないか。
・文字数は適切か。（一五〇～二〇〇字）

20点

二〇二二年度 郡山女子大学・郡山女子大学短期大学部
一般選抜Ⅰ期 個別学力試験

国語（国語総合）

氏名

志願番号